

尾花あきひと

市政レポート 第20号



発行日: R2年4月23日

「尾花あきひと後援会」は平成27年5月19日に政治団体届出をして以来会報を発行しております。

〒362-0035

上尾市仲町1-5-7

TEL: 048-773-7033

発行責任者: 甲斐茂夫

<http://www.obanaakihito.com/>

新年度予算が執行/コロナ感染防止の意識強化を

予算委員会制度導入により審査体制が強化された春の議会でしたが、コロナ問題により一転、「未知への対処」が問われる状況に。全国的に自治体ごとの対応差が浮き彫りになる局面で、上尾は早期に感染例が報道された一方、行政対応はやや遅れが生じています。

事態長期化は緊張感の欠如も引き起こします。緊急事態宣言の中、感染加速で不安も広がっていますが、主な感染経路とされる飛沫感染(くしゃみ・せき・つば等)、接触感染(ドアノブ・手すり・つり革等)にご注意頂き、手洗い・うがい・消毒といった基本徹底を改めてお願い申し上げます。めまぐるしい変化の中でも、シンプルかつ重要な事は「自身が感染しない・他人に感染させない」事なのは変わりません。家族や周りを守る最善手段です。

議会側としては皆様からのご意見や懸念を市に強く申し入れておりますが、市も緊急事態ゆえ苦慮しつつ対応している事も事実です。だからこそ市側が把握しきれない現場の情報をしっかりと伝えてまいりますので、お声を是非お寄せ下さい。議会・行政・民間・個人が知恵を出し合い、事態に対処すべき状況であると考えております。

要望中

「COVID-19(新型コロナ)」対策要望を提出

【市に対して】 下記事項を中心に 対策と予算措置を要望中です

- ・民間と協力し 感染発生時の早期情報開示
- ・感染疑いの人の為の「発熱外来」設置
- ・役所内、対外の感染防止策の徹底
- ・教育委員会から市内学校への一括要請強化
- ・市独自の相談窓口の設置
- ・保育所等へのマスク・消毒液の充足
- ・高齢者施設での感染症発症時の対応準備
- ・学童保育での感染予防対策
- ・休校に伴う授業代替案(遠隔授業実施)
- ・特別支援学級や放課後デイの支援
- ・休校に伴う児童・生徒の心身のケア
- ・商工会議所と経済対策の会議体設置
- ・事業者支援の緊急融資制度設置
- ・生活困窮者(子ども)の食事支援強化

【国に対して】「経済対策と感染拡大防止策・自治体への財政支援要望」提出を提案したところ、会派を超えて全議員にご賛同いただき意見書が採択となりました。また、緊急事態に伴う学校休校期間延長決定の際、当初は分散登校の方針が示されましたが、PTAの方から「感染対策の主旨からすれば分散登校も適さないのでは？」と多くの声を頂き教育委員会に届けたところ中止方針の決定に至りました。

この他、他市の議員仲間と情報連携し「市職員が感染した場合の対策マニュアル」情報を市へ打診する等しており行政側も含めこういった垣根を超えた連携で臨む局面と考えますので情報提供・ご意見を宜しくお願い申し上げます。



全会一致で意見書を採択

コロナ対策支援は裏面へ

新年度予算審査は中面へ

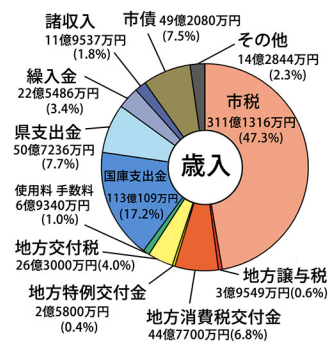


令和2年度一般会計

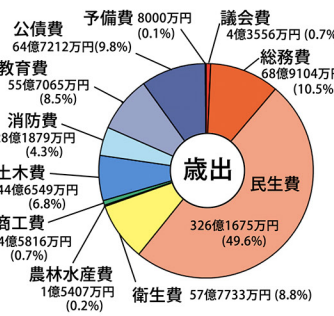
歳入＝歳出 それぞれ

657.4億円

(前年度比1.0%増)



◆個人市民税や固定資産税等の市税の収入(1.6億円)
◆地方消費税交付金(7.4億円)



◆幼児教育 保育無償適年度化等による民生費(15.5億円)
◆芝川郡下水道の進捗等による土木費変化(7.4億円)
◆過年度に発行した市債の減等による公債費変化(4.9億円)

財政構造分析と市政運営

類似他市と比較しての財政分析を伺いました。また、予算書は「単年度内の収支」を意味するが、一方で、市の「財金」にあたる基金の残高と今後の見通しは？

一財政課 歳入歳出総額が増加傾向にある。基金はH30・31年度にかけて残高が減少(71.1億円→57.4億円)しており、今後、財政運営に支障が出ないように残高維持が必要だが、金額の具体的目標は、まだ未設定。

国家公務員給料を「100」とした場合の市職員給料(ラスパイレス指数)が上尾市は非常に高く、H28年から103.3、103.5、103.4と推移し 全国3位となった時期もあった。直近は101.8と少し下がったが100を超えている現状を抑制する為の方策を考えているか？

一職員課 要因として本市は「管理職への昇進」が国家公務員と異なり、学歴を問わず管理職になる事も一因。「55歳以上の昇給停止」制度等も導入したが、100を超えてはいるが現状は、好ましくないとは考えている。国からも指導が来ている状況にある。

1億円枠内で各部署から財政案を募集し審査・採用する「政策企画コンテスト」が導入2年目に入る。新年度の採用本数は22本との報告だがこれは何本のうちから選定したのか？また、新規事業を生み出す気運を作るのは良い事だが、同時に「不要事業の見直し」もセットで考えるべき。限られた財源の中、廃止事業も一貫した事業の新規/廃止の管理を徹底すべきでは？

一行政経課 制度の早期検証と廃止事業資料化を検討したい。本数は応募26本のうち、22本が採用となった。

枠予算に対して各課からの提案を要請する手法だと採用が甘くなる事が懸念される。優れた事業に絞る為にも コンビ形式による等 財源管理の徹底を要する。

緊急時の対応に遅れが生じる危険あり

上尾市の財政構造は「地方税等の財源全体に対し毎年必ず支出する経費(人件費・扶助費・公債費等)が占める割合(経常収支比率)」が高い状況です。5年間では 94.1、94.6、95.8、95.4、97.3と推移しており「自由な財源に使える基金の割合が低い」という事です。全国の中でも高齢化速度が速い本市では 扶助費の今後の増大が予測されるほか、経常的経費は一般に 削減が容易でない項目です。一方で、地方税収入が比較的低いという問題があるため、将来を見据えて経費削減や行政運営効率化が必要ですが。基金の減少は コロナ対策のような「緊急で使えるお金」の減少も意味しています。

人件費総額(R2年度は総額111億円)を圧縮するためにも ラスパイレス指数の抑制を目指し、職員昇級の場面でもこれまで導入してこなかった筆記試験等の客観的評価をいれ 年齢や主観でなく成果で昇級する体制を整備することや、55歳以上の「昇級停止制度」についても給与据え置きから能力評価に切り替える等の変更を行い、不要事業削除とあわせて 組織改編の努力が必要で。

こういった要素は組織面からの動きでは容易でなく、市民の意見をとらえた政治家の決断や提案が重要です。今後も要請が続けて参ります。

学童整備について

国は「新設場所は80%以上 学校敷地内」との方針だが、今回の新設を敷地外とした検討経過は？

一青少年課 関係部署となるべく敷地面整備となる協議をしているが、決着しないうちに児童受入人数が増えたため、極力学校に近い民間敷地で決定した。

公共施設の総面積極抑制の面では増床が難しい現状、「空き教室転用」が有効だが各学校方針との調整が必要で、80%目標と現状に関する見解を伺いたい。

一青少年課 今後 部署横断的な「目に見える形での会議」設置を検討したい。

コロナ対策に専門家

補正予算等が組まれるまでは予備費での対応と思うが、学童での予防指導体制は整っているか？また、対策本部に感染症専門医は入っているか？

一青少年課 運営NPOと協議し体制を整える。

一健康増進課 医師会がコロナ対策会議を開催する旨連絡があったためそちらに参加し協議する。

この後 専門医を含む医師会側と市の連携が取られ「医師会・歯科医師会・薬剤師会・保健所を構成する専門家会議」が立ち上がりました。

丸山公園大池釣り問題

釣り続発を望む陳情が4344人の署名で提出された。これまでは市は釣り人口を「把握していない」と答弁したが、可視化され、市は公園に設置したアラートだが「かいはり＝釣り禁止」と誤認される誘導的内容などの精査が必要。同事業はセットではない釣り需要の純粋抽出が必要である。水位が下がっている池でのアンダーネット設置自体も疑問がある。役所ロビーやHPに設置すべきと思うが見解は？また、現在 来園者が「今後、かいはりの効果検証期間中は釣りをご遠慮ください」と表示しているが、市が当初示した「4月1日から釣り禁止」方針ではなく「期間を長く設けて、広く市民の声を聞く」という意味で良いか？

一あひの園課 HP掲載は予定していないが、無作為抽出で意向調査をする予定。今後は市民の意見をお聞きながら検証に役立てていく予定。

コロナによる外出自粛も発生している。公正な取組をして 広く市民の意見の反映を要する。

市は長年後援した「釣り」について市民需要を充分に考慮せず禁止方針を示してきましたが、本件は 釣り業界で注目された事が増えたようので、雑誌「月刊 釣り」や 新聞で特集が組まれたほか魚の処理方法を問題視した水産庁が 市役所を訪問する等の事態も発生しています。禁止予定日は延期されましたが、この状況でこそ、市民の意向を反映できるかに、市の姿が表れると思います。

『月刊釣り人』にて本誌の問題点や尾花質問が特集された

令和2年度
主な実施予定事業

- 小中学校の体育館にエアコン整備
国の緊急防災減災対策債を活用
3カ年計画 総事業費14.5億円(実質3割が市負担)
- 河川にカメラを設置
計6台体制で河川状況をチェック(市HPで配信)
- コンビニにAED設置
24時間利用可能なAED 市内 50台→93台体制へ
- 民間保育所新設を支援
定員増に向けた開設支援
- 全小中学校でフッ化物汚染
永久歯の虫歯予防策として小中でのうがいを実施
- 紙おむつ処理の負担軽減
民間保育所の保護者負担軽減費を施設に一部補助
公民館の保護者の持ち帰りを取りやめ
- 子ども子育て複合施設
大谷北部に整備予定施設の設計と用地購入
- コミセン大規模改造
老朽化対策の改造工事。R3年12月リニューアル

その他 提案が予算化されたもの

- 災害時の職員参集システム
市職員の一括情報収集・参集把握可能なシステム
数年にわたり導入を提案していたもの
外部専門家による防災体制チェックも要望実現
- 避難所開設ネット試作
市民が開設する可能性を想定して
避難所ごとになるマニュアルセットを試作
他自治体や個人視察を行い市に提案したもの
- RPAの実証実験
単純作業を自動化する仕組みを導入し職員が
対人業務に注力できるようにするもの
- ムクドリ対策(鷹匠と機器導入)
天敵である鷹を飛ばす、追い払い装置を導入する
等の追い払いを実施。広域的政策のため県主催の
調整会議、東海研究会への参加も要請が実現
- 環境センター後継計画の策定
国の「循環型社会形成推進交付金」情報を提供
してきたが この活用を目指す計画策定を実施
- 遅まきながらコロナ対策に伴い
今後 補正予算が組まれます

新型コロナ感染症に関する主な助成・給付制度

お問い合わせ先

社会福祉協議会
大字平塚724番地
048-773-7155

埼玉県
相談窓口
048-830-8291

厚生労働省
相談コールセンター
0120-60-3999

上尾商工会議所
経営相談窓口
048-773-3111

日本政策金融公庫
事業資金相談ダイヤル
0120-154-505

経済産業省
相談窓口
03-3501-1544

休業により 家計維持が困難

【貸付】緊急小口資金

失業により 家計維持が困難

【貸付】総合支援資金

離職等で 住む場を失う状況

【給付】住宅確保給付金

【給付】埼玉県中小企業者支援金

会社を休業する

【助成】雇用調整助成金
(コロナ特例)

従業員に休業を要請

【助成】小学校休業等対応助成金
(休校で労働者が有給休暇)

子どもがいる従業員のために

【助成】小学校休業等対応支援金
(休校でフリーランスが休業)

子どもがいる
フリーランスのために

【融資】セーフティネット保証
4号(突発災害) 5号(業況悪化)

資金繰りのため融資を受けたい

【融資】無利子 無担保 融資
(コロナ特別貸付)

コロナで売上が半減

【融資】マル経融資の金利引下げ

【給付】持続化給付金

上尾市 補正予算により現在予定されている支援策

コロナ感染が疑われる
国保被保険者に対して
傷病手当金支給

国保加入者のうち 感染・
感染疑いの方に対し 療養
により労務不能(給与支払
いがない場合) 4日以上の
休業分に対し支給する

マル経融資の
利子補給拡充

国のコロナ特別枠1千万
円を超過し 本体枠分も
融資を申し込んだ事業者
に1.21%の利子補給をし
実質無利子化を行うもの

ワンストップ窓口
(事業者向け)開設

セーフティネット保証の
認定と県融資の申請に
1週間かかる現状を
即日完了可能とするほか
融資や相談を迅速化。
相談窓口を一本化する

子育て世帯への
臨時特別給付金

(所得制限あり)
生活に困る世帯や
個人への支援として
H16年4/2-R2年3/31
に生まれた子が対象
給付額:1人に1万円
補助率:国庫10/10

国・自治体の支援情報は状況に応じ追加・変化しています
最新情報は都度、お問い合わせや広報やウェブサイトでご確認下さい

尾花あきひと
プロフィール

- 略歴
- ◆1983年 上尾市生まれ(36歳)
 - ◆明治大学 政治経済学部卒
 - ◆ドラマ 映画助監督(共同テレビ他)
 - ◆コミュニケーションショップ映画製作部
 - ◆大和商事(株)常務取締役
 - ◆旧みんなの党 政治塾卒(H25優秀賞)
 - ◆妻・父・母・弟・愛犬

- 公職と地域活動歴
- ◆自由民主党上尾支部 青年部長
 - ◆上尾市議会 総務常任委員会 委員長
 - ◆議会改革特別委員会 副委員長
 - ◆明治大学校友会埼玉県支部 幹事
 - ◆(公社)埼玉中央青年会議所 理事
 - ◆上尾商工会議所青年部 理事
 - ◆上尾伊奈防火安全協会 理事
 - ◆上尾仲町商店会 理事
 - ◆日本防災士機構 防災士

皆様のお声をお聞かせください!

上尾市で起きている事、勇気をお借りすることなど
お気軽にご相談下さい。小さな事でも構いません。
何気ない風評こそ市を良くするきっかけになります。

お問い合わせ先 尾花あきひと事務所
〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-5-7
TEL 048-773-7033 FAX 048-773-6287

a-obana
@obana-m.jp <https://www.facebook.com/akihiito.obana>